

第14回レスキューロボットコンテストにおける 消防庁長官賞の授与について

総務課
消防研究センター

1. レスキューロボットコンテストの開催について

平成26年8月9日（土）～10日（日）の日程で（10日は台風接近により中止）、デザイン・クリエイティブセンター神戸（兵庫県神戸市）で第14回レスキューロボットコンテストが開催されました（消防庁特別共催）。

消防庁では、自治体消防制度60周年の記念事業として第8回（平成20年）に初めて消防庁長官賞を設け、その後も継続して、先進的な科学技術の導入等により要救助者の負担軽減と効率的な救助を実現したチームに対して表彰を行い、今後の消防防災活動を支えるレスキューロボットの研究開発・実用化の推進に寄与しています。



第14回レスキューロボットコンテストポスター

2. レスキューロボットコンテストとは

日本におけるレスキュー技術の研究においては、平成7年の阪神・淡路大震災から得られた教訓を踏まえて、レスキュー機器の技術的課題に関する様々な検討が行われました。この中で、ロボット技術の研究は活発になり、大きく発展しました。それらロボット技術の中からは、東日本大震災における福島原子力発電所事故の調査活動に活用されているものもあります。

レスキューロボットコンテストは、参加者が製作したロボットでコンテストの課題（ガレキに埋もれた要救助者の救助）に取り組むことで、レスキュー活動の重要性や難しさについて自ら考えるとともに、将来的にレスキュー機器の開発に携わる青少年を育成することや、防災やレスキューの必要性について広報することを目的としています。



要救助者（ダミー人形）の救出にあたる「なだよりあいをこめて」2号機

3. 消防庁長官賞受賞チーム

今回の消防庁長官賞は、神戸市立科学技術高校 科学技術研究会が製作した「なだよりあいをこめて」が受賞しました。大会時、神戸市に接近した台風の影響により、2日目の競技、表彰式が中止となっしまい、表彰状は後日送付されました。

「なだよりあいをこめて」は、各ロボットの瓦礫除去、要救助者の救出、收容のための機構をうまく活用しながら、素早くかつやさしい救助を行ったことが高く評価されたものです。



神戸市立科学技術高校 科学技術研究会
「なだよりあいをこめて」（消防庁長官賞受賞）

コンテスト当日の詳細については、
レスキューロボットコンテスト公式ホームページ
<http://rescue-robot-contest.org/index.html>
を参照ください。

問い合わせ先

消防庁総務課（消防技術政策担当） 中越、和田
TEL: 03-5253-7541